（8）個人情報の取扱いについて

出願受付を通じて取得した個人情報及び入学試験の実施により取得した個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」、「国立大学法人大阪教育大学個人情報等管理規程」及び「国立大学法人大阪教育大学保有個人情報開示等取扱規程」に基づき、適切に管理し、次のとおり取扱います。法令に基づく場合を除き、個人情報の目的外利用及び第三者に提供することはありません。

1．入学者の選抜、合格発表、入学手続業務等に利用します。
2．入学者の個人情報については、教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除、奨学金申請等）、出納業務（授業料、寄宿料、教員免許状一括申請手数料等の徴収並びに給与の支払）等に関する業務に利用します。
3．氏名、性別、生年月日、高等学校等コード及び大学入学共通テストの受験番号に限り、国公立大学の分離分割方式による合格及び追加合格決定業務を円滑に行うため、独立行政法人大学入試センター及び併願先国公立大学に送達します。
4．取得した個人情報は、個人が特定できない形で処理したうえで、今後の入学者選抜等における調査、研究及びこれらに付随する業務を行うための分析資料や本学の経営戦略を立案する基礎資料として利用します。

なお、以上の業務の一部又はすべてを外部に委託し、必要な個人情報を提供する場合は、委託先との間で適切な取扱いに関する契約を締結します。

（9）入学検定料の返還請求について

次の ア）～ ウ）の場合を除き、出願後、一旦受理した入学検定料は返還できません。

ア）入学検定料等を払い込んだが、出願しなかった場合、又は出願資格を有していないため出願書類が受理されなかった場合
イ）入学検定料等を誤って二重に払い込んだ場合
ウ）出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等により出願無資格者であることが判明した場合
（返還金額　１３，０００円　ただし、小学校教育（夜間）５年専攻は７，８００円）

上記 ア）～ ウ）に該当する場合は、大阪教育大学入試課まで問い合わせてください。

ＴＥＬ：０７２－９７８－３３２４　　受付時間：平日９：００～１７：００
ＦＡＸ：０７２－９７８－３３２７

なお、ア）、イ）については、返還に係る振込手数料は、請求者の負担とします。
また、**返還請求には領収書、明細票等の支払いを確認できる書類が必要**となりますので必ず保管しておいてください。クレジットカードで支払った場合は、入金確認メールを印刷したものでもかまいません。
なお、入学検定料の返還時期は、返還請求の時期にかかわらず、令和９年度一般選抜の入試関連日程終了後、３月下旬以降となります。

6　入学者選抜方法等

（1）入学者選抜方法

入学者選抜は、大学入学共通テストの成績、本学の行う教科・科目に係る個別テスト等の成績及び出身学校から提出される調査書の内容を総合して行います。
合否判定は、大学入学共通テストの成績と教科・科目に係る個別テスト等の総合得点及び調査書の内容を総合して行います。
ただし、総合得点が著しく低い者、又は総合得点が低く大学入学共通テストの成績または教科・科目に係る個別テスト等の成績のいずれかが著しく低い者については、募集人員に満たない場合でも、不合格とすることがあります。

（２）入学者選抜の実施教科・科目等について

一般選抜で、本学が課す令和９年度大学入学共通テストの利用教科・科目及び本学の実施する教科・科目に係る個別テスト等は２４～２６頁のとおりです。（配点については２７～２９頁を参照してください。）

また、注意事項及び大学入学共通テストの本学での科目選択パターンについて２１～２３頁に記載していますので、必ず併せてご確認ください。

なお、令和９年度大学入学共通テストにおいて、本学が課す教科･科目を１科目でも受験しなかった場合は、一般選抜においては教科・科目に係る個別テスト等の受験を認めません。また、教科・科目に係る個別テスト等を１科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

また、教科・科目に係る個別テスト等を１科目でも受験しなかった場合は、選抜の対象としません。

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

（注１）教科・科目名は次のように略しています。

『国語』→『国』、『外国語』→『外』、『地理歴史』→『地歴』（公民はそのまま）、『数学』→『数』、『理科』→『理』、『情報』→『情』

『英語（リスニング含む）』→『英（リ）』、『ドイツ語』→『独』、『フランス語』→『仏』、『中国語」→『中』、『韓国語』→『韓』
『地理総合、地理探究』→『地総、地探』、『歴史総合、日本史探究』→『歴総、日探』、『歴史総合、世界史探究』→『歴総、世探』、
『地理総合／歴史総合／公共』→『地総／歴総／公』、『公共、倫理』→『公、倫』、『公共、政治・経済』→『公、政経』、
『数学Ⅰ、数学A』→『数Ⅰ、数A』、『数学Ⅰ』→『数Ⅰ』、『数学Ⅱ、数学B、数学C』→『数Ⅱ、数B、数C』、
『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』→『物基／化基／生基／地基』、『物理』→『物』、『化学』→『化』、『生物』→『生』、
『地学』→『地』、『情報Ⅰ』→『情Ⅰ』

（※）地歴と公民は独立した教科なので、それぞれ１教科として数えます。共通テスト出願の際には注意してください。

（※）『地理総合／歴史総合／公共（地総／歴総／公）』は地歴と公民両方の範囲を含むため、それぞれの欄に記載しています。
そのため、公民の欄に記載する際は『地総／歴総／公（再掲）』としていますのでご注意ください。

なお、本学における大学入学共通テスト利用科目の選択パターンについては、２３頁をご確認ください。

（注２）『地理総合／歴史総合／公共』は「地理総合」、「歴史総合」及び「公共」の３つを出題範囲とし、そのうち２つを選択解答します。

なお、地歴及び公民で２科目を選択する場合、選択できない組合せがあるため注意してください。（以下の注意書き及び下図参照）

- **『公共、倫理』と『公共、政治・経済』の組合せを選択することはできません。**
- **『地理総合／歴史総合／公共』を選択する場合において、選択解答が可能な組合せは次のとおりとなるので注意してください。**

『地理総合、地理探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「歴史総合」及び「公共」の組合せ
『歴史総合、日本史探究』又は『歴史総合、世界史探究』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「地理総合」及び「公共」の組合せ
『公共、倫理』又は『公共、政治・経済』を選択する場合、『地理総合／歴史総合／公共』では「地理総合」及び「歴史総合」の組合せ

（解答順は順不同）	『地理総合、地理探究』	『歴史総合、日本史探究』	『歴史総合、世界史探究』	『公共、倫理』	『公共、政治・経済』	『地理総合／歴史総合／公共』		
						「地理総合」と「歴史総合」	「地理総合」と「公共」	「歴史総合」と「公共」
『地理総合、地理探究』		○	○	○	○	×	×	○
『歴史総合、日本史探究』	○		○	○	○	×	○	×
『歴史総合、世界史探究』	○	○		○	○	×	○	×
『公共、倫理』	○	○	○		×	○	×	×
『公共、政治・経済』	○	○	○	×		○	×	×

（注３）『数学Ⅱ、数学B、数学C』について、「数学B」及び「数学C」については、数列（数学B）、統計的な推測（数学B）、ベクトル（数学C）及び平面上の曲線と複素数平面（数学C）の４項目を出題範囲とし、そのうち３項目を選択解答します。

（注４）『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』は「物理基礎」、「化学基礎」、「生物基礎」及び「地学基礎」の４つを出題範囲とし、そのうち２つを選択解答します。

なお、理科で２科目を選択する場合のうち、『物理基礎、化学基礎、生物基礎、地学基礎』並びに『物理』、『化学』、『生物』及び『地学』から１科目を選択する場合において、**「同一名称を含む科目の組合せ」を選択することはできません。**

「同一名称を含む科目の組合せ」とは、「物理基礎」と「物理」、「化学基礎」と「化学」、「生物基礎」と「生物」、「地学基礎」と「地学」の組合せをいいます。（選択できる組合せについては、下図を参照してください。）

（解答順は順不同）	『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』					
	「物理基礎」と「化学基礎」	「物理基礎」と「生物基礎」	「物理基礎」と「地学基礎」	「化学基礎」と「生物基礎」	「化学基礎」と「地学基礎」	「生物基礎」と「地学基礎」
『物理』	×	×	×	○	○	○
『化学』	×	○	○	×	×	○
『生物』	○	×	○	×	○	×
『地学』	○	○	×	○	×	×

（注５）大学入学共通テストにおいて、指定した教科・科目数を超えて受験した場合は、原則として最高得点となる組合せの教科・科目の成績を用います。

ただし、地歴、公民から１科目を課す募集区分において２科目を受験した場合、又は理科から１科目を課す募集区分において２科目を受験した場合は、解答順に、前半６０分で受験した科目を第１解答科目、後半６０分で受験した科目を第２解答科目とし、第１解答科目の成績を用います。

（注６）大学入学共通テストの外国語の「英語」にはリスニングテストを含みます。（リスニングテスト免除者は除く。）

リスニングテストを免除されている場合は、リーディング試験１００点満点を２００点満点に換算した成績を用います。

また、英語以外の外国語を受験した場合は、筆記（２００点満点）の成績をそのまま使用します。

（注７）大学入学共通テストの情報は、１００点満点を５０点満点に換算した成績を用います。

なお、傾斜配点により端数が生じた場合は、小数点第一位を四捨五入します。（２７～２９頁参照）

【教科・科目に係る個別テスト等】欄

（注８）「活動報告書」とは、高校時代等に行った活動実績の概要を記載し、そこで身につけた能力、スキルや経験が教職に就くためにどのように役立つのかなどを記載するものです。

（注９）「英文ライティング」とは、「和文英訳問題」と与えられたテーマに関して自分の意見を述べる「自由英作文」のことです。

（注10）教科・科目に係る個別テストの英語は聴き取り試験を行いません。

（注11）数学の出題範囲は、次のとおりです。

・「数学Ⅰ」、「数学Ⅱ」、「数学Ⅲ」、「数学A」は全範囲から出題します。
・「数学B」は「数列」、「数学C」は「ベクトル」、「平面上の曲線と複素数平面」から出題します。

（注12）理科の出題範囲は、次のとおりです。（試験開始後に下記から１つ選択解答します。）

・「物理基礎・物理」は物理基礎、物理の全範囲から出題します。
・「化学基礎・化学」は化学基礎、化学の全範囲から出題します。
・「生物基礎・生物」は生物基礎、生物の全範囲から出題します。
・「地学基礎・地学」は地学基礎、地学の全範囲から出題します。

（注13）英語能力測定試験の詳細については、１８・１９頁を参照してください。

大学入学共通テストの受験教科・科目を検討する際は、６８～７０頁の確認表を活用してください。自身が選択する組合せで本学を受験可能か不安な場合は、大学入学共通テスト受験前のできるだけ早い時期に入試課まで問い合わせてください。

例年、前頁の（注２）及び上記（注４）に掲載している、地歴及び公民で２科目を選択する場合や、理科で２科目を選択する場合において、選択できない組合せの科目を受験する方が一定数いますので、記載の注意事項をよく読んだうえで科目を選択してください。

令和９年度大阪教育大学における大学入学共通テスト利用科目の選択パターンについて

大学入学共通テストの利用教科・科目名			
科目パターン	教科	科目名等	
A（文理）	国	『国』	必須
	外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6）	から1
	地歴 公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2）	から1又は2※
	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1
		『数Ⅱ、数B、数C』（注3）	必須
	理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4）	から1又は2※
	情	『情Ⅰ』（注7）	必須
		（６教科８科目又は７教科８科目） ※地歴、公民から２の場合は理科から１、地歴、公民から１の場合は理科から２	
B（文系）	国	『国』	必須
	外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6）	から1
	地歴 公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2）	から2
	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1
		『数Ⅱ、数B、数C』（注3）	必須
	理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4）	から1
	情	『情Ⅰ』（注7）	必須
		（６教科８科目又は７教科８科目）	
C（理系）	国	『国』	必須
	外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6）	から1
	地歴 公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2）	から1
	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』	から1
		『数Ⅱ、数B、数C』（注3）	必須
	理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4）	から2
	情	『情Ⅰ』（注7）	必須
		（６教科８科目）	
D（文理）	国	『国』	必須
	外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6）	から1
	地歴 公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2）	から1
	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 『数Ⅱ、数B、数C』（注3）	から1
	理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4）	から1
	情	『情Ⅰ』（注7）	必須
		（６教科６科目）	
E（文理）	国	『国』	必須
	外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6）	から1
	地歴 公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2）	
	数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 『数Ⅱ、数B、数C』（注3）	から1
	理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4）	
	情	『情Ⅰ』（注7）	必須
		（４教科４科目）	

学部	課程・専攻・コース		大学入学共通テストの利用教科・科目名			日程	教科・科目に係る個別テスト等	
			科目パターン	教科	科目名等		教科等	科目名等
教育学部	学校教育教員養成課程 幼小教育専攻	幼児教育コース	A（文理）	国	『国』 必須	前期	その他	面接
				外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
				地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1又は2※			
				数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1			
					『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須			
				理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1又は2※			
				情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
			（6教科8科目又は7教科8科目） ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2					
		小学校教育コース	A（文理）	国	『国』 必須	前期	その他	小論文
				外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
				地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1又は2※			
				数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1			
					『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須			
				理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1又は2※			
				情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
			（6教科8科目又は7教科8科目） ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2					
	次世代教育専攻	教育探究コース	A（文理）	国	『国』 必須	前期	その他	小論文 活動報告書（注8）
				外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
				地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1又は2※			
				数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1			
					『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須	後期	その他	面接 活動報告書（注8）
				理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1又は2※			
				情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
			（6教科8科目又は7教科8科目） ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2					
		ICT教育コース	C（理系）	国	『国』 必須	前期	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注11） 小論文
				外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
				地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1			
				数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1			
					『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須	後期	数 その他	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注11） 面接
				理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から2			
				情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
			（6教科8科目）					
	教科教育専攻	国語教育コース	B（文系）	国	『国』 必須	前期	国 その他	現代の国語、言語文化、論理国語、 文学国語、国語表現、古典探究 面接
				外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
				地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から2			
				数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1			
					『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須	後期	その他	小論文 面接
				理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1			
				情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
			（6教科8科目又は7教科8科目）					
		英語教育コース	A（文理）	国	『国』 必須	前期	外 その他	英文ライティング（注9） 面接（英語での受け答えが中心）
				外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
				地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1又は2※			
				数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1			
					『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須			
				理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1又は2※			
				情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
			（6教科8科目又は7教科8科目） ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2 ※英語能力測定試験の成績により大学入学共通テストの得点の合計点に得点加算します。（注13）					
		社会科教育コース	B（文系）	国	『国』 必須	前期	その他	小論文
				外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
				地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から2			
				数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1			
					『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須			
				理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1			
				情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
			（6教科8科目又は7教科8科目）					
		数学教育コース	C（理系）	国	『国』 必須	前期	数 理	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注11） 物基・物、化基・化、生基・生、 地基・地　から1（注12） （試験開始後に選択）
				外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
				地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1			
				数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1			
					『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須	後期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注11）
				理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から2			
				情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
			（6教科8科目）					
		理科教育コース	C（理系）	国	『国』 必須	前期	理	物基・物、化基・化、生基・生、 地基・地　から1（注12） （試験開始後に選択）
				外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
				地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1			
				数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1			
					『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須			
				理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から2			
				情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
			（6教科8科目）					
		技術教育コース	C（理系）	国	『国』 必須	前期	その他	小論文 面接 志望理由書
				外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
				地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1			
				数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1			
					『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須			
				理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から2	後期	その他	面接 志望理由書
				情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
			（6教科8科目）					

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】及び【教科・科目に係る個別テスト等】については、２１～２２頁も参照してください。

学部	課程・専攻・コース	大学入学共通テストの利用教科・科目名			日程	教科・科目に係る個別テスト等	
		科目パターン	教科	科目名等		教科等	科目名等
教育学部	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	A（文理）	国	『国』 必須	前期	その他	小論文
			外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
			地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1又は2※			
			数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1			
				『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須	後期	その他	面接
			理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1又は2※			
			情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
				（6教科8科目又は7教科8科目） ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2			
	保健体育コース	D（文理）	国	『国』 必須	前期	その他	実技検査
			外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
			地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1			
			数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 『数Ⅱ、数B、数C』（注3） から1			
					後期	その他	実技検査
			理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1			
			情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
				（6教科6科目）			
	音楽教育コース	D（文理）	国	『国』 必須	前期	その他	実技検査
			外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
			地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1			
			数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 『数Ⅱ、数B、数C』（注3） から1			
					後期	その他	実技検査
			理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1			
			情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
				（6教科6科目）			
	美術・書道教育コース	D（文理）	国	『国』 必須	前期	その他	実技検査 面接
			外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
			地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1			
			数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 『数Ⅱ、数B、数C』（注3） から1			
					後期	その他	実技検査
			理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1			
			情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
				（6教科6科目）			
	特別支援教育専攻	A（文理）	国	『国』 必須	前期	その他	小論文
			外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
			地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1又は2※			
			数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1			
				『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須	後期	その他	小論文 面接
			理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1又は2※			
			情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
				（6教科8科目又は7教科8科目） ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2			
	小学校教育（夜間）5年専攻	A（文理）	国	『国』 必須	前期	その他	面接
			外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
			地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1又は2※			
			数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1			
				『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須	後期	その他	面接
			理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1又は2※			
			情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
				（6教科8科目又は7教科8科目） ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2			
	養護教諭養成課程	A（文理）	国	『国』 必須	前期	その他	小論文
			外	『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1			
			地歴公民	『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1又は2※			
			数	『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1			
				『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須	後期	その他	面接
			理	『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1又は2※			
			情	『情Ⅰ』（注7） 必須			
				（6教科8科目又は7教科8科目） ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2			

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】及び【教科・科目に係る個別テスト等】については、２１～２２頁も参照してください。

学部	学科・専攻・コース		大学入学共通テストの利用教科・科目名			日程	教科・科目に係る個別テスト等	
			科目パターン	教科	科目名等		教科等	科目名等
教育学部	教育協働学科	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	A（文理）	国：『国』 必須 外：『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1 地歴：『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 公民：『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1又は2※ 数：『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1 『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須 理：『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1又は2※ 情：『情Ⅰ』（注7） 必須 （6教科8科目又は7教科8科目） ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2	前期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注11）
						後期	数	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C（注11）
			環境安全科学コース	A（文理）	国：『国』 必須 外：『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1 地歴：『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 公民：『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1又は2※ 数：『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1 『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須 理：『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1又は2※ 情：『情Ⅰ』（注7） 必須 （6教科8科目又は7教科8科目） ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2	前期	理	物基・物、化基・化、生基・生、 地基・地　から1（注12） （試験開始後に選択）
						後期	その他	小論文
		教育コミュニティ支援専攻	心理科学コース	A（文理）	国：『国』 必須 外：『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1 地歴：『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 公民：『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） から1又は2※ 数：『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1 『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 必須 理：『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） から1又は2※ 情：『情Ⅰ』（注7） 必須 （6教科8科目又は7教科8科目） ※地歴、公民から2の場合は理科から1、地歴、公民から1の場合は理科から2	前期	その他	小論文
						後期	その他	小論文
			スポーツ健康コース	E（文理）	国：『国』 必須 外：『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1 地歴：『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 公民：『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） 数：『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1 『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 理：『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） 情：『情Ⅰ』（注7） 必須 （4教科4科目）	前期	その他	実技検査
						後期	その他	実技検査
			芸術表現コース	E（文理）	国：『国』 必須 外：『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1 地歴：『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 公民：『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） 数：『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1 『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 理：『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） 情：『情Ⅰ』（注7） 必須 （4教科4科目）	前期	その他	実技検査
						後期	その他	実技検査
		グローバル教育専攻	日本語教育コース	E（文理）	国：『国』 必須 外：『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1 地歴：『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 公民：『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） 数：『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1 『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 理：『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） 情：『情Ⅰ』（注7） 必須 （4教科4科目）	前期	その他	小論文
			国際協働英語コース	E（文理）	国：『国』 必須 外：『英（リ）』、『独』、『仏』、『中』、『韓』（注6） から1 地歴：『地総、地探』、『歴総、日探』、『歴総、世探』、『地総／歴総／公』（注2） 公民：『公、倫』、『公、政経』、『地総／歴総／公（再掲）』（注2） 数：『数Ⅰ、数A』、『数Ⅰ』 から1 『数Ⅱ、数B、数C』（注3） 理：『物基／化基／生基／地基』、『物』、『化』、『生』、『地』（注4） 情：『情Ⅰ』（注7） 必須 （4教科4科目） ※英語能力測定試験の成績により大学入学共通テストと教科・科目に係る個別テスト等の得点の合計点に得点加算します。（注13）	前期	外	英語コミュニケーションⅠ、 英語コミュニケーションⅡ、 英語コミュニケーションⅢ、 論理・表現Ⅰ、論理・表現Ⅱ、 論理・表現Ⅲ （聴き取り試験を含まない。）（注10）

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】及び【教科・科目に係る個別テスト等】については、２１～２２頁も参照してください。

（3）大学入学共通テスト、教科・科目に係る個別テスト等の配点等

一般選抜における令和９年度大学入学共通テスト及び本学が実施する教科・科目に係る個別テスト等の配点は次のとおりです。
次の表における「個別テスト等」は「教科・科目に係る個別テスト等」を指しています。

学部	課程・専攻・コース			日程	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	証明書	その他	小計	合計	加点
教育学部	学校教育教員養成課程	幼小教育専攻	幼児教育コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250	
					個別テスト等									300			300		
				後期	後期日程は募集を行いません。														
			小学校教育コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250	
					個別テスト等							300					300		
				後期	後期日程は募集を行いません。														
		次世代教育専攻	教育探究コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1310	
					個別テスト等							300				◎60	360		
				後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1310	
					個別テスト等									300		◎60	360		
			ＩＣＴ教育コース ①情報＋小学校 ●	前期	共通テスト	200	100	200	200	200	50						950	1550	
					個別テスト等			300				300					600		
				後期	共通テスト	200	100	200	200	200	50						950	1550	
					個別テスト等			200						400			600		
			ＩＣＴ教育コース ②情報＋中高数学 ●	前期	共通テスト	200	100	200	200	200	50						950	1550	
					個別テスト等			350				250					600		
				後期	共通テスト	200	100	200	200	200	50						950	1550	
					個別テスト等			400						200			600		
		教科教育専攻	国語教育コース	前期	共通テスト	200	200	200	100	200	50						950	1550	
					個別テスト等	300								300			600		
				後期	共通テスト	200	200	200	100	200	50						950	1550	
					個別テスト等							300		300			600		
			英語教育コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	★400	50						1150	1550	最大50
					個別テスト等					200				200			400		
				後期	後期日程は募集を行いません。														
			社会科教育コース	前期	共通テスト	200	200	200	100	200	50						950	1250	
					個別テスト等							300					300		
				後期	後期日程は募集を行いません。														
			数学教育コース	前期	共通テスト	200	100	200	200	200	50						950	1600	
					個別テスト等			450	200								650		
				後期	共通テスト	200	100	200	200	200	50						950	1550	
					個別テスト等			600									600		
			理科教育コース	前期	共通テスト	200	100	★400	200	200	50						1150	1750	
					個別テスト等				600								600		
				後期	後期日程は募集を行いません。														
			技術教育コース	前期	共通テスト	200	100	200	200	200	50						950	1450	
					個別テスト等							300		150		■50	500		
				後期	共通テスト	200	100	200	200	200	50						950	1450	
					個別テスト等									450		■50	500		
			家政教育コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250	
					個別テスト等							300					300		
				後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1550	
					個別テスト等									600			600		
			保健体育コース	前期	共通テスト	200	100	100	100	200	50						750	1310	
					個別テスト等								560				560		
				後期	共通テスト	200	100	100	100	200	50						750	1150	
					個別テスト等								400				400		
			音楽教育コース	前期	共通テスト	200	100	100	100	200	50						750	1310	
					個別テスト等								560				560		
				後期	後期日程は募集を行いません。														

配点横に記号又は注釈が付してある場合は、２８・２９頁を確認してください。

学部	課程・専攻・コース		日程	試験の区分	国語	地歴公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	証明書	その他	小計	合計	加点
教育学部	学校教育教員養成課程	教科教育専攻 美術・書道教育コース	前期	共通テスト	200	100	100	100	200	50						750	1300	
				個別テスト等								350	200			550		
			後期	共通テスト	200	100	100	100	200	50						750	1300	
				個別テスト等								550				550		
		特別支援教育専攻	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250	
				個別テスト等							300					300		
			後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1400	
				個別テスト等							300		150			450		
		小学校教育（夜間）５年専攻	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250	
				個別テスト等									300			300		
			後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1400	
				個別テスト等									450			450		
	養護教諭養成課程		前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250	
				個別テスト等							300					300		
			後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1250	
				個別テスト等									300			300		
	教育協働学科	教育イノベーション専攻 数理・知能情報コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1550	
				個別テスト等			600									600		
			後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1550	
				個別テスト等			600									600		
		環境安全科学コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1550	
				個別テスト等				600								600		
			後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1550	
				個別テスト等							600					600		
		教育コミュニティ支援専攻 心理科学コース	前期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1400	
				個別テスト等							450					450		
			後期	共通テスト	200	※200 ※100	200	※100 ※200	200	50						950	1600	
				個別テスト等							650					650		
		スポーツ健康コース	前期	共通テスト	200	＊100	＊100	＊100	200	50						550	1050	
				個別テスト等								500				500		
			後期	共通テスト	200	＊100	＊100	＊100	200	50						550	1050	
				個別テスト等								500				500		
		芸術表現コース	前期	共通テスト	200	＊100	＊100	＊100	200	50						550	1050	
				個別テスト等								500				500		
			後期	共通テスト	200	＊100	＊100	＊100	200	50						550	1050	
				個別テスト等								500				500		
		グローバル教育専攻 日本語教育コース	前期	共通テスト	200	＊100	＊100	＊100	200	50						550	850	
				個別テスト等							300					300		
			後期	後期日程は募集を行いません。														
		国際協働英語コース	前期	共通テスト	200	＊100	＊100	＊100	★400	50						750	1050	最大60
				個別テスト等					300							300		
			後期	後期日程は募集を行いません。														

配点欄における記号・注釈について

※印を付してある２教科は、一方が１００の場合は、もう一方は２００となります。
（選択できる科目数については２１～２６頁を参照してください。）
＊印は、選択教科を表しています。（選択教科については２１～２６頁を参照してください。）
★印は、傾斜配点をしている教科を表しています。（傾斜配点については２９頁を参照してください。）
◎印は、活動報告書を表しています。
■印は、志望理由書を表しています。
●印について、ICT教育コースは、卒業要件を満たすことにより取得できる教員免許状のパターンを出願時に選択します。
（１１頁５（５）を参照してください。）

傾斜配点について

大学入学共通テストの外国語「英語」でリスニングテストを免除されている場合は、リーディング試験１００点満点を２００点満点に換算した成績を用います。

また、「英語」以外の外国語を受験した場合は、筆記（２００点満点）の成績をそのまま利用します。（ただし、英語教育コース及び国際協働英語コースは４００点満点に換算します。）

大学入学共通テストの情報は、１００点満点を５０点満点に換算した成績を用います。

その他、２７～２９頁で、大学入学共通テストの教科の点数に傾斜をかけている専攻・コースと、その教科・係数等は次のとおりです。

なお、傾斜配点により端数が生じた場合は、小数点第一位を四捨五入します。

課程・学科・専攻・コース	日程	教科・科目	素点（A）	係数（B）	配点（A×B）	共通テスト配点合計
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	前期	外国語	200	2	400	1150
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 理科教育コース	前期	数学	200	2	400	1150
教育協働学科 グローバル教育専攻 国際協働英語コース	前期	外国語	200	2	400	750

（4）「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

入試過去問題を使用する際は、そのまま使用することも一部改変することもあります。なお、使用した場合は本学ウェブページでお知らせいたします。詳細は本学ウェブページを参照してください。

（5）小論文の内容及び採点・評価基準

教員養成課程

課程・専攻等		内容	採点・評価基準
前期日程	学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 小学校教育コース	提示された資料に基づいて、理解力・思考力・発想力・論理的構成力をみるために、小論文形式で筆答させる。	提示された資料に対する理解力や思考力・発想力・論理的構成力を総合的に評価するが、文章表現力についても採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	提示された課題に関する論述をとおして、思考力・洞察力・表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。	思考力・洞察力・表現力を総合的に評価するが、課題の理解度や分析力、論理の構成力についても採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 ICT教育コース	情報技術やICT教育に関する課題に対し、理解力・洞察力・表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。	課題に対する理解力や洞察力、論述における論理的構成力や文章表現力について総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 社会科教育コース	総合的な理解力・思考力・表現力をみるために、社会科教育に関わる広範な視野に立つ複数の課題を提示し、小論文形式で筆答させる。	理解力・思考力・表現力を総合的に評価することに加え、課題把握の的確さや分析力、論理の構成力、社会的事象に対する関心の在り方及び論述の独自性を採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	技術や技術教育に関する理解と関心をみるために理科（物理基礎・物理の範囲）の学力を必要とする課題に対し、小論文形式で筆答させる。	課題に対する理解（関心を含む）と洞察、論述における論理の構成力や表現力などを総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	総合的な理解力・思考力・表現力をみるために、生活に関する広範な視野に立つ複数の課題を与え、小論文形式で筆答させる。	理解力・思考力・表現力を総合的に評価するが、課題把握の的確さや論理の構成力、分析力についても採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	提示された複数の課題に関する論述を通して、理解力・思考力・表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。	思考力・表現力を総合的に評価するが、課題の理解力や論理の構成力、漢字の表記能力についても採点・評価の対象とする。
	養護教諭養成課程	複数の課題を与え、理解力・思考力・表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。	出題した問題に対する読解力、考察力をみるとともに文章の表現力、的確性、論理構成力についても採点・評価の対象とする。
後期日程	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関する理解力・表現力を測るために、小論文形式で筆答させる。	目的・状況に応じて活用できる言語能力を測るため、国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関して、理解力、分析的思考力、判断力、コミュニケーション力、文章構成力、表現力を、採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	与えられた課題に基づいて、特別支援教育に関する理解力をみるために、小論文形式で筆答させる。	理解力を中心に評価するが、論理の構成力や表現力、漢字の表記能力についても採点・評価の対象とする。

教育協働学科

専攻・コース		内容	採点・評価基準
前期日程	教育コミュニティ支援専攻 心理科学コース	人間と社会に関連する資料や論文を読解し、要点を的確に把握し、設問に応じて思考を論理的に表現する力を総合的にみるために、小論文形式で筆答させる。	人間と社会に関連する資料や論文を読解し、要点を簡潔にまとめ自分自身の考えを論理的・具体的に述べるという読解力、思考力、表現力を総合的に判断して採点・評価する。
	グローバル教育専攻 日本語教育コース	日本語および日本の社会・文化・教育やグローバル化する世界と地域に関する知識と理解力を問い、さらに表現力をみるために、小論文形式で筆答させる。	日本語および日本の社会・文化・教育やグローバル化する世界と地域に関する知識と理解力に加えて、課題分析力、論理的思考力、文章力を採点・評価の基準とする。
後期日程	教育イノベーション専攻 環境安全科学コース	自然科学や生活科学、安全科学に関する資料を用いてその理解と認識、および考え方を見るために、小論文形式で筆答させる。	思考力・表現力を総合的に評価するが、課題の理解度や分析力、論理の構成力や漢字の表記能力についても採点・評価の対象とする。
	教育コミュニティ支援専攻 心理科学コース	人間と社会に関連する資料や論文を手がかりとし、題意に即して論点を整理し論述する力をみるために、小論文形式で筆答させる。	人間と社会に関連する資料や論文を的確に読み取り題意に即して自分の考えを述べるという読解力、論理的思考力、表現力を総合的に判断して採点・評価する。

（6）面接（口述試験を含む。）の内容及び採点・評価基準

教員養成課程

課程・専攻等		内容	採点・評価基準
前期日程	学校教育教員養成課程 幼小教育専攻 幼児教育コース	幼児教育に関する理解・関心度・意欲をみる内容を問う。表現力や協調性をみる内容を含む場合がある。	幼児教育に関する理解・関心度・意欲を総合的に評価する。表現力や協調性について評価する場合がある。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	国語（現代文・古文・漢文・国語表現）に関する理解力、思考力ならびに音声コミュニケーション力をみるために面接形式で行う。	思考力、表現力、判断力、国語教育及び教職に対する適性を評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 英語教育コース	英語の知識と技能及び日本語・英語での思考力・判断力・表現力を問う内容。 与えられた情報やトピックについて、英語で質疑応答を行う。	面接を通して、質問に対する理解力及び思考力・判断力・表現力を総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	将来、小学校、中学校の技術教育に関わる教員となるのにふさわしい資質と、技術や技術教育に関する知識・関心・理解をみる内容を問う。	小学校、中学校の技術教育に関わる教員への意欲、技術や技術教育に関する知識・理解・関心・意欲・適性及び面接時における話の要点や論理性などを総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース	<美術実技の選択者> 美術教育に関する理解と関心度をみるために面接形式で行う。 <書道実技の選択者> 書写・書道教育に関する理解と認識及び思考力・表現力・判断力をみる内容を問う。	<美術実技の選択者> 美術・美術教育をとおして、これからの教育課題に向き合える力を持ち合わせているか、個人の活動はもとより、他者との協調性、美術・美術教育及び教職に対する意欲等を総合的に判断し採点・評価する。 <書道実技の選択者> 面接をとおして、思考力・表現力・判断力をみるとともに、書写・書道教育及び教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
	学校教育教員養成課程 小学校教育（夜間）５年専攻	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる内容を問う。	面接をとおして、論理性・表現力・応用能力をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。

課程・専攻等		内容	採点・評価基準
後期日程	学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	学校教育のさまざまな現代的課題への強い関心と、教育科学に関わる学際的な知識をもとに学校教育のあり方を探究しようとする意欲、ならびに、将来、学校教育の教員となるのにふさわしい資質をみる内容を問う。	学校教育の現代的課題への関心、学校教育のあり方を探究しようとする意欲、学校教育の教員への意欲と、認識や洞察の深さなどについて総合的に採点・評価する。
	学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 ICT教育コース	情報技術やICT教育に関する理解と関心及び思考力・表現力、教職に就く強い意欲をみる内容を問う。	面接をとおして、質問に対する知識や理解力、論理性や表現力をみるとともに、情報技術やICT教育に対する意欲などを総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 国語教育コース	国語（現代文・古文・漢文・国語表現）及び国語教育に関する理解と認識及び思考力、表現力、判断力をみる内容を問う。	面接をとおして、質問に対する理解力、思考力、応答の適確さ、応用力をみるとともに、国語教育及び教職に対する適性について総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	将来、小学校、中学校の技術教育に関わる教員となるのにふさわしい資質と、技術や技術教育に関する知識・関心・理解をみる内容を問う。くわえて、数学・理科（数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B、数学C、物理基礎、物理の範囲）に関する口述試験を行うことがある。	小学校、中学校の技術教育に関わる教員への意欲、技術や技術教育に関する知識・理解・関心・意欲・適性及び面接時における話の要点や論理性などを総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 家政教育コース	家庭科に関する理解と関心及び思考力、表現力をみる内容を問う。	面接をとおして、質問に対する理解力、思考力、的確な応答について総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 特別支援教育専攻	特別支援教育に関する理解と認識及び思考力、表現力をみる内容を問う。	面接をとおして、質問に対する理解力、思考力、表現力をみるとともに、特別支援教育及び教職への意欲等について総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 小学校教育（夜間）5年専攻	学校教育に関する理解と認識及び思考力・表現力をみる内容を問う。	面接をとおして、論理性・表現力・応用能力をみるとともに、学校教育・教職への熱意・適性について総合的に採点・評価する。
	養護教諭養成課程	養護への関心ならびに健康問題に関する理解及び思考力、表現力、応用力を総合的にみる内容を問う。	面接をとおして、質問に対する理解力、思考力、応答の的確さ、応用力をみるとともに、養護及び教職への意欲等について総合的に採点・評価する。

（7）実技検査

（7）－1　実技検査の実施内容及び留意事項

教員養成課程

【前期日程】

課程・専攻・コース	実　施　内　容　及　び　留　意　事　項
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	次のⅠ、Ⅱの検査を実施する。 Ⅰ．専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト 次の 1)～16)の中から１種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。 1）陸上競技 次の種目の中から１種目を選択し､試合に準じた試技または種目に関連した試技を行う。 天候及び種目によって、試験当日、全天候走路・ピット、土走路・ピットのどちらかで試技を行う。試技でスパイクを用いる場合は、全天候走路用スパイク・土走路用スパイクの双方を持参すること。 男子：100m、400m、800m、1500m、110mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投 女子：100m、400m、800m、1500m、100mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投 2）バスケットボール 1．各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート） 2．２対１又は３対２ 3．速攻 4．ゲーム 3）サッカー フィールドプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜フィールドプレーヤー＞ 1．短距離走 2．各種シュート 3．ゲーム ＜ゴールキーパー＞ 1．ゴールキーピング(キャッチング、ポジショニング、セービング) （フィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入って行う。） 2．キックの技能 4）ラグビーフットボール 1．グリッド（ムーブ・ザ・ボール） 2．ヒット（コンタクト） 3．タックル 4．パス 5．タッチフット 5）バレーボール 1．最高到達点 2．対人パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス） 3．対人レシーブ 4．スパイク又はトス又はサーブレシーブ（選択） 5．ゲーム 6）ハンドボール コートプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜コートプレーヤー＞ 1．シュート 2．１対１の攻撃 3．ゲーム（３対３） 4．遠投

（教員養成課程・前期日程　次頁へ続く）

（教員養成課程・前期日程　前頁から続く）

	＜ゴールキーパー＞ 1. シュートセーブ 2. ゲーム（３対３） 3. 遠投 7）卓球 ゲーム（シングルス） 8）硬式テニス ゲーム（シングルス） 雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。 9）ソフトテニス ゲーム（ダブルス） 雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。 10）硬式野球 1. バッティング 2. 走塁（ベーススランニング） 3. 3-1.野手 又は 3-2.投手 を選択して検査を行う。 3-1. 野手（各自のポジションでの守備） 3-2. 投手（ピッチング） 雨天時は、3-1.野手（各自のポジションでの守備）の試験内容をテニスボールでのゴロ捕球に変更する場合がある。
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	11）バドミントン ゲーム（シングルス） 12）体操競技 男子：ゆか、あん馬、鉄棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか、平均台、段違い平行棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 13）ダンス 1. 基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。 3. 課題による創作：課題（伴奏付き）を与え、課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 14）柔　道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 4. 乱取 15）剣　道 1. 切り返し 2. 応じ技 3. 互角稽古・試合稽古 16）水泳競技（競泳） 次の種目の中から１種目を選択し、試合形式で記録測定を行う。 50m自由形、100m自由形、200m自由形、400m自由形、100m背泳ぎ、200m背泳ぎ、100m平泳ぎ、200m平泳ぎ、100mバタフライ、200mバタフライ、200m個人メドレー、400m個人メドレー

（教員養成課程・前期日程　次頁へ続く）

（教員養成課程・前期日程　前頁から続く）

学校教育教員養成課程
教科教育専攻
保健体育コース

Ⅱ．選択実技検査：種目別運動技能に関するテスト

次の表を参考にしてＡ～Ｊの中から出願時に１種目選択（但しＪはＪ１又はＪ２から１種目を選択）すること。出願後の変更は認めない。なお、「○」は選択できる種目、「×」は選択できない種目である。

専門実技検査・選択実技検査組み合わせ一覧

Ⅰ 専門実技検査 ＼ Ⅱ 選択実技検査		A 陸上競技	B バスケットボール	C サッカー	D バレーボール	E ソフトボール	F バドミントン	G 器械運動	H 柔道	I 剣道	J 体つくり	J 1 ラジオ体操及びみんなの体操	J 2 メディシンボール横投げ
1	陸上競技	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	バスケットボール	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		
3	サッカー	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○		
4	ラグビーフットボール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
5	バレーボール	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		
6	ハンドボール	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		
7	卓球	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
8	硬式テニス	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		
9	ソフトテニス	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		
10	硬式野球	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
11	バドミントン	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		
12	体操競技	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		
13	ダンス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
14	柔道	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		
15	剣道	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		
16	水泳競技（競泳）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

Ａ　陸上競技
次の走、投てきについて試技を行い、記録を測定する。
1. １００ｍハードル走
2. 槍投げ（ジャベリック）

Ｂ　バスケットボール
1. 各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート）
2. ドリブル
3. ゲーム

Ｃ　サッカー
1. ボールコントロール（キックを含む。）
2. 各種シュート
3. ゲーム

Ｄ　バレーボール
1. パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス）
2. 対人レシーブ
3. ラリー（１人で３段攻撃を行う）

Ｅ　ソフトボール
1. キャッチボール（全員）
2. 遠投（全員）
3. バッティング又はピッチング（選択）

（教員養成課程・前期日程　次頁へ続く）

（教員養成課程・前期日程　前頁から続く）

<table>
<tr>
<td>学校教育教員養成課程
教科教育専攻
保健体育コース</td>
<td>
Ｆ　バドミントン
1．シャトルのピックアップ
2．各種ショット

Ｇ　器械運動
マット運動について、当日指定された技を実施する。

Ｈ　柔　道
1．受身
2．立技
3．寝技

Ｉ　剣　道
1．基本動作（素振り）
2．基本打突
3．基本となる技
（注）小手胴垂のみ着装：剣道具は持参もしくは貸出し可能

Ｊ　体つくり（Ｊ１、Ｊ２の中から１種目を選択）
Ｊ１　ラジオ体操及びみんなの体操：ラジオ体操第一、第二及びみんなの体操の中から当日指定された体操を行う。
Ｊ２　メディシンボール横投げ：男女とも1.0kgのゴム製ボールを用い、決められたところから両手で横投げする。
</td>
</tr>
<tr>
<td>学校教育教員養成課程
教科教育専攻
音楽教育コース</td>
<td>
次のⅠ～Ⅲの検査を実施する。

Ⅰ．歌　曲
次の２曲から任意の１曲を歌う。
1）Caro mio ben　　G.Giordani　　(F,Es,D,C-Dur)
2）Sogno　　F.P.Tosti　　(As,B-Dur)
（注）1．歌詞は、原語により暗譜で歌うこと。なお、曲の途中で演奏を中止させる場合がある。
2．<u>上記以外の調で歌う場合は、移調した伴奏用楽譜（正確、明瞭に記譜し、歌唱旋律及び歌詞を記入したもの）に志願者氏名を明記し、出願確認票とともに提出すること。</u>
3．伴奏者は本学で配置する。

Ⅱ．ピアノ
次の1)、2)からそれぞれ１曲ずつ、計２曲を演奏する。
1)古典派のソナタから任意の一つの楽章（ただし緩徐楽章は除く。）
2)以下の【練習曲 課題一覧】の①～⑥から１つを選び、任意に抜粋した１曲
（注）1．演奏は暗譜で行い、原則として繰り返しは省略すること。なお、曲の途中で演奏を中止させる場合がある。
2．<u>選んだ２曲の作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。また、多楽章形式の曲を選ぶ場合は演奏する楽章まで必ず記載すること。</u>
記入例（1）L.v. ベートーヴェン：ピアノソナタ第7番 ニ長調 Op.10-3より　第1楽章
（2）C. ツェルニー　　：30番練習曲Op.849より　第1番
【練習曲 課題一覧】
① C. ツェルニー：30番練習曲 Op.849
② C. ツェルニー：40番練習曲 Op.299
③ C. ツェルニー：50番練習曲 Op.740（699）
④ M. モシュコフスキー：15の練習曲 Op.72
⑤ F. ショパン：練習曲集 Op.10
⑥ F. ショパン：練習曲集 Op.25

Ⅲ．楽　典　　（解答時間　６０分）
高等学校の教科書 音楽Ⅰ 程度の内容
</td>
</tr>
</table>

（教員養成課程・前期日程　次頁へ続く）

（教員養成課程・前期日程　前頁から続く）

学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース	**<美術実技選択者>** 次の検査を実施する。 鉛筆による静物デッサン （注）１　鉛筆、消しゴム（ねり消しゴムを含む。）、羽根ボウキは使用可（各自持参すること）。それ以外の道具は使用不可とする。 ２　カルトン、画用紙、クリップは本学で準備する。 ３　鉛筆の硬度は問わない。 **<書道実技選択者>** 次の検査を実施する。 １）臨書（半紙） ①楷書「九成宮醴泉銘」　②行書「集字聖教序」　③草書「書譜」 ④仮名「高野切第三種」 ２）筆記テスト（書道Ⅰ、書道Ⅱで扱う専門的知識を問う。） （注）１　硯、墨、筆（大・小）、水差し、無地の下敷き、文鎮、筆記用具及び新聞紙は各自持参すること。 ２　半紙は本学で準備する。 ［注］実技検査の種別ごとの合格者数の目安は次のとおり。 美術実技を選択した者から１１人程度、書道実技を選択した者から５人程度

【後期日程】

課程・専攻・コース	実　施　内　容　及　び　留　意　事　項
学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	次の検査を実施する。 専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト 次の 1)～16)の中から１種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。 1）陸上競技 次の種目の中から１種目を選択し､試合に準じた試技または種目に関連した試技を行う。 天候及び種目によって、試験当日、全天候走路・ピット、土走路・ピットのどちらかで試技を行う。試技でスパイクを用いる場合は、全天候走路用スパイク・土走路用スパイクの双方を持参すること。 男子：100m、400m、800m、1500m、110mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投 女子：100m、400m、800m、1500m、100mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投 2）バスケットボール 1. 各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート） 2. ２対１又は３対２ 3. 速攻 4. ゲーム 3）サッカー フィールドプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜フィールドプレーヤー＞ 1. 短距離走 2. 各種シュート 3. ゲーム ＜ゴールキーパー＞ 1. ゴールキーピング（キャッチング、ポジショニング、セービング） （フィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入って行う。） 2.キックの技能 4）ラグビーフットボール 1. グリッド（ムーブ・ザ・ボール） 2. ヒット（コンタクト） 3. タックル 4. パス 5. タッチフット 5）バレーボール 1. 最高到達点 2. 対人パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス） 3. 対人レシーブ 4. スパイク又はトス又はサーブレシーブ（選択） 5. ゲーム 6）ハンドボール コートプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜コートプレーヤー＞ 1. シュート 2. １対１の攻撃 3. ゲーム（３対３） 4. 遠投 ＜ゴールキーパー＞ 1. シュートセーブ 2. ゲーム（３対３） 3. 遠投

（教員養成課程・後期日程　次頁へ続く）

（教員養成課程・後期日程　前頁から続く）

学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	7）卓球 ゲーム（シングルス） 8）硬式テニス ゲーム（シングルス） 雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。 9）ソフトテニス ゲーム（ダブルス） 雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。 10）硬式野球 1．バッティング 2．走塁（ベースランニング） 3．3-1.野手 又は 3-2.投手 を選択して検査を行う。 3-1．野手（各自のポジションでの守備） 3-2．投手（ピッチング） 雨天時は、3-1.野手（各自のポジションでの守備）の試験内容をテニスボールでのゴロ捕球に変更する場合がある。 11）バドミントン ゲーム（シングルス） 12）体操競技 男子：ゆか、あん馬、鉄棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか、平均台、段違い平行棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 13）ダンス 1．基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2．短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。 3．課題による創作：課題（伴奏付き）を与え、課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 14）柔　道 1．受身 2．立技 3．寝技 4．乱取 15）剣　道 1．切り返し 2．応じ技 3．互角稽古・試合稽古 16）水泳競技（競泳） 次の種目の中から１種目を選択し、試合形式で記録測定を行う。 50m自由形、100m自由形、200m自由形、400m自由形、100m背泳ぎ、200m背泳ぎ、100m平泳ぎ、200m平泳ぎ、100mバタフライ、200mバタフライ、200m個人メドレー、400m個人メドレー

（教員養成課程・後期日程　次頁へ続く）

（教員養成課程・後期日程　前頁から続く）

学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース	**<美術実技選択者>** 次の検査を実施する。 図版などで、美術作品や児童生徒作品などを鑑賞し、そこから感じたこと・読み取ったことなどを８００字以内で記述する。 （注）筆記用具は持参すること。作品又は作品図版、その他解答に必要なものは、本学で用意する。 **<書道実技選択者>** 次の検査を実施する。 １）臨書（半紙） ①楷書「九成宮醴泉銘」　②行書「集字聖教序」　③草書「書譜」 ④仮名「高野切第三種」 ２）筆記テスト（書道Ⅰ、書道　Ⅱで扱う専門的知識を問う。） （注）１　硯、墨、筆（大・小）、水差し、無地の下敷き、文鎮、筆記用具及び新聞紙は各自持参すること。 ２　半紙は本学で準備する。 ［注］実技検査の種別ごとの合格者数の目安は次のとおり。 美術実技を選択した者から３人程度、書道実技を選択した者から２人程度

教育協働学科

【前期日程】

専攻・コース	実施内容及び留意事項
教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	次のⅠ、Ⅱの検査を実施する。 Ⅰ．専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト 次の 1)～16)の中から１種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。 1）陸上競技 次の種目の中から１種目を選択し､試合に準じた試技または種目に関連した試技を行う。 天候及び種目によって、試験当日、全天候走路・ピット、土走路・ピットのどちらかで試技を行う。試技でスパイクを用いる場合は、全天候走路用スパイク・土走路用スパイクの双方を持参すること。 男子：100m、400m、800m、1500m、110mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投 女子：100m、400m、800m、1500m、100mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投 2）バスケットボール 1．各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート） 2．２対１又は３対２ 3．速攻 4．ゲーム 3）サッカー フィールドプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜フィールドプレーヤー＞ 1．短距離走 2．各種シュート 3．ゲーム ＜ゴールキーパー＞ 1．ゴールキーピング（キャッチング、ポジショニング、セービング） （フィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入って行う。） 2．キックの技能 4）ラグビーフットボール 1．グリッド（ムーブ・ザ・ボール） 2．ヒット（コンタクト） 3．タックル 4．パス 5．タッチフット 5）バレーボール 1．最高到達点 2．対人パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス） 3．対人レシーブ 4．スパイク又はトス又はサーブレシーブ（選択） 5．ゲーム 6）ハンドボール コートプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜コートプレーヤー＞ 1．シュート 2．１対１の攻撃 3．ゲーム（３対３） 4．遠投

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

（教育協働学科・前期日程　前頁から続く）

	＜ゴールキーパー＞ 1. シュートセーブ 2. ゲーム（３対３） 3. 遠投 7）卓球 ゲーム（シングルス） 8）硬式テニス ゲーム（シングルス） 雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。 9）ソフトテニス ゲーム（ダブルス） 雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。 10）硬式野球 1. バッティング 2. 走塁（ベースランニング） 3. 3-1.野手 又は 3-2.投手 を選択して検査を行う。 3-1. 野手（各自のポジションでの守備） 3-2. 投手（ピッチング） 雨天時は、3-1.野手（各自のポジションでの守備）の試験内容をテニスボールでのゴロ捕球に変更する場合がある。
教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	11）バドミントン ゲーム（シングルス） 12）体操競技 男子：ゆか、あん馬、鉄棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか、平均台、段違い平行棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 13）ダンス 1. 基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2. 短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。 3. 課題による創作：課題（伴奏付き）を与え、課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 14）柔　道 1. 受身 2. 立技 3. 寝技 4. 乱取 15）剣　道 1. 切り返し 2. 応じ技 3. 互角稽古・試合稽古 16）水泳競技（競泳） 次の種目の中から１種目を選択し、試合形式で記録測定を行う。 50m自由形、100m自由形、200m自由形、400m自由形、100m背泳ぎ、200m背泳ぎ、100m平泳ぎ、200m平泳ぎ、100mバタフライ、200mバタフライ、200m個人メドレー、400m個人メドレー

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

（教育協働学科・前期日程　前頁から続く）

教育コミュニティ支援専攻
スポーツ健康コース

Ⅱ．選択実技検査：種目別運動技能に関するテスト

次の表を参考にしてＡ～Ｊの中から出願時に１種目選択（但しＪはＪ１又はＪ２から１種目を選択）すること。出願後の変更は認めない。なお、「○」は選択できる種目、「×」は選択できない種目である。

専門実技検査・選択実技検査組み合わせ一覧

Ⅰ 専門実技検査 ＼ Ⅱ 選択実技検査		A 陸上競技	B バスケットボール	C サッカー	D バレーボール	E ソフトボール	F バドミントン	G 器械運動	H 柔道	I 剣道	J 体つくり	J 1 ラジオ体操及びみんなの体操	J 2 メディシンボール横投げ
1	陸上競技	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
2	バスケットボール	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		
3	サッカー	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○		
4	ラグビーフットボール	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
5	バレーボール	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○		
6	ハンドボール	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○		
7	卓球	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
8	硬式テニス	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		
9	ソフトテニス	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		
10	硬式野球	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
11	バドミントン	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		
12	体操競技	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○		
13	ダンス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
14	柔道	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○		
15	剣道	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		
16	水泳競技（競泳）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		

Ａ　陸上競技

次の走、投てきについて試技を行い、記録を測定する。

1. ５０ｍハードル走
2. 槍投げ（ジャベリック）

Ｂ　バスケットボール

1. 各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート）
2. ドリブル
3. ゲーム

Ｃ　サッカー

1. ボールコントロール（キックを含む。）
2. 各種シュート
3. ゲーム

Ｄ　バレーボール

1. パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス）
2. 対人レシーブ
3. ラリー（１人で３段攻撃を行う）

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

（教育協働学科・前期日程　前頁から続く）

教育コミュニティ支援専攻
スポーツ健康コース

Ｅ　ソフトボール
1. キャッチボール（全員）
2. 遠投（全員）
3. バッティング又はピッチング（選択）

Ｆ　バドミントン
1. シャトルのピックアップ
2. 各種ショット

Ｇ　器械運動
マット運動について、当日指定された技を実施する。

Ｈ　柔　道
1. 受身
2. 立技
3. 寝技

Ｉ　剣　道
1. 基本動作（素振り）
2. 基本打突
3. 基本となる技
（注）小手胴垂のみ着装：剣道具は持参もしくは貸出し可能

Ｊ　体つくり（Ｊ１、Ｊ２の中から１種目を選択）
Ｊ１　ラジオ体操及びみんなの体操：ラジオ体操第一、第二及びみんなの体操の中から当日指定された体操を行う。
Ｊ２　メディシンボール横投げ：男女とも1.0kgのゴム製ボールを用い、決められたところから両手で横投げする。

教育コミュニティ支援専攻
芸術表現コース
【音楽分野】

<音楽実技選択者>

【専　　門】　志望専門別に受験すること。

志望専門別検査科目表

検査科目＼志望専門	声　楽	器　楽	
		ピアノ	管･打楽器
声　　楽	A		
ピ　ア　ノ		B	
管・打楽器			C
聴　　音	D	D	D
ピ　ア　ノ	E	（E）	E
楽　　典	F	F	F

Ａ　声　　楽
ア　課題曲
次の１０曲から任意の２曲を選び、その中から当日指定された１曲を暗譜で歌う。

1) Star vicino　S.Rosa
2) Sento nel core　A.Scarlatti
3) Son tutta duolo　A.Scarlatti
4) Caro laccio　F.Gasparini
5) Lasciar d'amarti　F.Gasparini
6) Sebben, crudele　A.Caldara
7) Se tu m'ami　G.B.Pergolesi
8) An die Musik　F.P.Schubert
9) Die Lotosblume　R.A.Schumann
10) Wiegenlied　J.Brahms

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

（教育協働学科・前期日程　前頁から続く）

教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【音楽分野】	イ　自由曲 課題曲1)～10）以外で、４分以内に演奏できる任意の１曲を暗譜で歌う。 （注）１　歌詞は原語で歌うこと。 ２　オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調で歌うこと。 ３　曲の途中で演奏を中止させる場合がある。 ４　**課題曲・自由曲ともに伴奏用楽譜（歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの）を提出すること。**ただし、１ページの大きさはＢ５判（縦257mm×横182mm）とし、志願者氏名を明記の上、出願確認票と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。 ５　伴奏者は本学で配置する。 Ｂ　ピ ア ノ ア、イの順に暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。なお、曲の途中で演奏を中止させる場合がある。**使用する楽譜の版は指定しない。** ア　L.v.Beethoven：ピアノソナタより任意の１曲を選択し、第１楽章を演奏すること。 ただし、Op.49-1、Op.49-2、Op.79を除く。 また、Op.27-1、Op.101、Op.109を選択した場合は、第１、２楽章を演奏すること。 Op.27-2を選択した場合は第３楽章を演奏すること。 イ　自由曲　１曲 （注）**イ 自由曲の作曲者名・曲名をインターネット出願で登録して申請すること。また、多楽章形式の曲を選ぶ場合は演奏する楽章まで必ず記載すること。** Ｃ　管・打楽器 楽器別により、それぞれ指定（ア、イ、ウ）されたものを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。なお、曲の途中で演奏を中止させる場合がある。また、**楽譜について指定のあるものは、その版を用いること。** ａ　フルート ア　長調の音階及び半音階（調及びアーティキュレーションは当日指定） イ　A.B.Furstenau：BOUQET DES TONS Op.125（Alphonse Leduc版）より No.5 K.J.Andersen：24 studies Op.21（Schirmer版）より No.4、10 以上の３曲の中から当日指定 ウ　W.A.Mozart：Flute Concerto No.1 G-dur K.313、No.2 D-dur K.314の中から任意の１曲の第１楽章（カデンツァは省略） ｂ　オーボエ ア　フルートのアに同じ。 イ　J.H.Luft：24 Etüden より No.4、15 の中から当日指定 ウ　J.Haydn：Oboe Konzert C-dur（Breitkopf版）第１楽章 ｃ　クラリネット ア　フルートのアに同じ。 イ　C.Rose：32 Etudes（Alphonse Leduc版）より任意の１曲 ウ　C.M.Weber：Concertino Es-dur Op.26 ｄ　ファゴット ア　フルートのアに同じ。 イ　J.Weissenborn：Fagott Studien Op.8 Heft Ⅱ より No.2、3、10 の中から当日指定 ウ　G.P.Telemann：SONATA in f for Bassoon & Continuo より 第１楽章、第２楽章

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

（教育協働学科・前期日程　前頁から続く）

教育コミュニティ支援専攻
芸術表現コース
【音楽分野】

e　アルト・サクソフォーン

ア　フルートのアに同じ。

イ　W.Ferling：48 Etudes pour tous les saxophone（Alphonse Leduc版）No.1～24より任意の奇数番号1曲と偶数番号1曲の計2曲

ウ　A.Grazounov：Concerto en mi bemol（Alphonse Leduc版）冒頭から練習番号第16番まで

f　トランペット

ア　次の譜例により、長調の音階２オクターブ及び分散和音(調は当日指定)



イ　C.Kopprasch：Sixty Selected Studies for Trumpet
No.1～34 の中から当日指定

ウ　次の１）、２）、３）のいずれか１曲を選択。

１）G.ALARY：MORCEAU DE CONCOURS（ALPHONSE LEDUC版）

２）P.GAUBERT：CANTABILE ET SCHERZETTO（ALPHONSE LEDUC版）

３）G.HÜE：1er SOLO DE CORNET A PISTONS（ALPHONSE LEDUC版）

g　ホルン

ア　トランペットのアに同じ。

イ　C.Kopprasch：Sixty Selected Studies for French Horn
No.8、12、13、15、16、19、20、21、22、23 の中から当日指定

ウ　W.A.Mozart：Horn Concerto No.3 Es-dur K.447 第１楽章（カデンツァは省略）

h　トロンボーン

ア　トランペットのアに同じ。

イ　C.Kopprasch：Sixty Selected Studies for Trombone
No.7、11、12、13、14、15、19、21、25、27 の中から当日指定

ウ　J.E.Galliard：Six Sonatas No.1（International版）

i　バス・トロンボーン

ア　トランペットのアに同じ。

イ　C.Kopprasch：Sixty Selected Studies for Trombone
No.3、5、7、8、11、12、18、19、20、21 の中から当日指定
（ただし No.7、8、12は１オクターブ下で演奏すること）

ウ　E.Sachse：Konzert F-dur für Posaune und Klavier（Zimmermann版）

j　ユーフォニアム

ア　トランペットのアに同じ。

イ　C.Kopprasch：Sixty Selected Studies for Trombone
No.4、5、7、10、14、15、19、27、28、32 の中から当日指定

ウ　J.B.Arban：Variations on a Song “Vois-tu la neige qui brille”
(The beautiful Show)

k　テューバ

ア　トランペットのアに同じ。

イ　C.Kopprasch：Sixty Selected Studies for BB flat TUBA（ROBERT KING MUSIC版）よりNo.7、11、12、13、14、15、19、21、25、27 の中から当日指定

ウ　J.S.Bach-W.Bell 編曲：Air and Bourrée（Carl Fischer版）

（教育協働学科・前期日程　次頁へ続く）

教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【音楽分野】	l　打楽器 ア　小太鼓の基本奏法 １つ打ち、２つ打ち、５つ打ち （緩→急→緩　等、当日指定）、ロール（ ＜、 ＞、 ＜　＞等、当日指定） イ　Anthony J.Cirone：Portraits in Rhythm 50 Studies for Snare Drum より No.3、13の中から当日指定 ウ　Morris Goldenberg：Modern School for Xylophone Marimba Vibraphone (Alfred版）より Bach's Violin Concerto in A minor Adapted for Xylophone by M.Goldenberg Allegro moderato（９４～９６頁） （注）ウについては、マリンバで演奏すること。 マリンバ（５オクターブ半）、小太鼓、スタンド、バチ置きは貸出し可能 **【音楽に関する基礎能力の検査】**　次の検査については全員受験すること。 D　聴　　音 a　旋律聴音　　８小節程度の単旋律を書き取る。 b　和声聴音　　８小節程度の密集四声体による和声を書き取る。 （調の範囲は、ａ・ｂいずれもシャープ又はフラットが二つまで） E　ピ ア ノ 声楽及び管・打楽器を専門とする者は、次の曲を演奏する。 J.Haydn、 W.A.Mozart、 L.v.Beethoven：Sonatenより任意の一つの速い楽章。 ただし、ピアノを専門とする者は、Ｂのアをもってこれに代える。 （注）１　暗譜で演奏し、 繰り返しは省略すること。 ２　曲の途中で演奏を中止させる場合がある。 ３　**作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。また、多楽章形式の曲を選ぶ場合は演奏する楽章まで必ず記載すること。** F　楽　　典　　（解答時間５０分）
教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【美術分野】	**<美術実技選択者>** 次の検査を実施する。 鉛筆による卓上モチーフの描写 （注）１　鉛筆、消しゴム（ねり消しゴムを含む。）、羽根ボウキは使用可（各自持参すること）。それ以外の道具は使用不可とする。 ２　カルトン、カルトン用クリップ、画用紙、鉛筆削り用具は本学で準備する。 ３　鉛筆の硬度は問わない。 ［注］実技検査の種別ごとの合格者数の目安は次のとおり。 音楽実技を選択した者から１５人程度、美術実技を選択した者から５人程度

【後期日程】

専攻・コース	実施内容及び留意事項
教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	次の検査を実施する。 専門実技検査：種目別運動技能に関するテスト 次の 1)～16)の中から１種目を出願時に選択すること。出願後の変更は認めない。 1）陸上競技 次の種目の中から１種目を選択し､試合に準じた試技または種目に関連した試技を行う。 天候及び種目によって、試験当日、全天候走路・ピット、土走路・ピットのどちらかで試技を行う。試技でスパイクを用いる場合は、全天候走路用スパイク・土走路用スパイクの双方を持参すること。 男子：100m、400m、800m、1500m、110mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投 女子：100m、400m、800m、1500m、100mH、400mH、3000mW、走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投 2）バスケットボール 1. 各種シュート（ランニングシュート、ジャンプシュート） 2. ２対１又は３対２ 3. 速攻 4. ゲーム 3）サッカー フィールドプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜フィールドプレーヤー＞ 1. 短距離走 2. 各種シュート 3. ゲーム ＜ゴールキーパー＞ 1. ゴールキーピング（キャッチング、ポジショニング、セービング） （フィールドプレーヤーの2.3.のテストでゴールマウスに入って行う。） 2.キックの技能 4）ラグビーフットボール 1. グリッド（ムーブ・ザ・ボール） 2. ヒット（コンタクト） 3. タックル 4. パス 5. タッチフット 5）バレーボール 1. 最高到達点 2. 対人パス（オーバーハンドパス、アンダーハンドパス） 3. 対人レシーブ 4. スパイク又はトス又はサーブレシーブ（選択） 5. ゲーム 6）ハンドボール コートプレーヤー又はゴールキーパーを選択して検査を行う。 ＜コートプレーヤー＞ 1. シュート 2. １対１の攻撃 3. ゲーム（３対３） 4. 遠投 ＜ゴールキーパー＞ 1. シュートセーブ 2. ゲーム（３対３） 3. 遠投

（教育協働学科・後期日程　次頁へ続く）

（教育協働学科・後期日程　前頁から続く）

教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	7）卓球 ゲーム（シングルス） 8）硬式テニス ゲーム（シングルス） 雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。 9）ソフトテニス ゲーム（ダブルス） 雨天時は体育館で、球出しからのグランドストローク、ボレー、スマッシュ、サーブなどに変更する場合がある。 10）硬式野球 1．バッティング 2．走塁（ベースランニング） 3．3-1.野手 又は 3-2.投手 を選択して検査を行う。 3-1．野手（各自のポジションでの守備） 3-2．投手（ピッチング） 雨天時は、3-1.野手（各自のポジションでの守備）の試験内容をテニスボールでのゴロ捕球に変更する場合がある。 11）バドミントン ゲーム（シングルス） 12）体操競技 男子：ゆか、あん馬、鉄棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 女子：ゆか、平均台、段違い平行棒の各種目で、指定された基本的な技の実施。 13）ダンス 1．基礎的身体運動：示範の動き（伴奏付き）を練習後に実施。 2．短いフレーズの創作（現代的なリズム）：現代的なリズムにふさわしい動きを組み込んだ短いフレーズの創作。 3．課題による創作：課題（伴奏付き）を与え、課題からイメージしたものをダンス作品として創作。 14）柔　道 1．受身 2．立技 3．寝技 4．乱取 15）剣　道 1．切り返し 2．応じ技 3．互角稽古・試合稽古 16）水泳競技（競泳） 次の種目の中から1種目を選択し、試合形式で記録測定を行う。 50m自由形、100m自由形、200m自由形、400m自由形、100m背泳ぎ、200m背泳ぎ、100m平泳ぎ、200m平泳ぎ、100mバタフライ、200mバタフライ、200m個人メドレー、400m個人メドレー

（教育協働学科・後期日程　次頁へ続く）

（教育協働学科・後期日程　前頁から続く）

教育コミュニティ支援専攻
芸術表現コース
【音楽分野】

<音楽実技選択者>

【専　　門】　志望専門別に受験すること。

志望専門別検査科目表

検査科目＼志望専門	声　楽	器　　楽	
		ピアノ	管･打楽器
声　　楽	A		
ピ　ア　ノ		B	
管・打楽器			C

A　声　　楽

自由曲　２曲

（注）１　歌詞は原語とし、暗譜で歌うこと。
２　オペラ及びオラトリオ等のアリアは原調で歌うこと。
３　曲の途中で演奏を中止させる場合がある。
４　**伴奏用楽譜（歌唱旋律及び歌詞が記入されたもの）を提出すること。**ただし、１ページの大きさはＢ５判（縦 257 ㎜×横 182 ㎜）とし、志願者氏名を明記の上、出願確認票と共に提出すること。提出後の作品及び調性等の変更は認めない。
５　伴奏者は本学で配置する。

B　ピ ア ノ

自由曲　１曲　（・バッハ平均律ピアノ曲集及びショパン練習曲集を除く。・ソナタの場合は１つの速い楽章。）

（注）１　暗譜で演奏し、繰り返しは省略すること。
２　曲の途中で演奏を中止させる場合がある。
３　**自由曲の作曲者名と曲名をインターネット出願で登録して申請すること。また、多楽章形式の曲を選ぶ場合は演奏する楽章まで必ず記載すること。**

C　管・打楽器

楽器別により、それぞれ指定（ア、イ）されたものを演奏する。ただし、無伴奏とし、楽譜は見てもよい。なお、曲の途中で演奏を中止させる場合がある。

自由曲については、楽器名・作曲者名・曲名をインターネット出願で登録して申請すること。また、多楽章形式の曲を選ぶ場合は演奏する楽章まで必ず記載すること。

ａ　フルート
ア　長調の音階及び半音階（調及びアーティキュレーションは当日指定）
イ　自由曲　１曲

ｂ　オーボエ
ア　フルートのアに同じ。
イ　自由曲　１曲
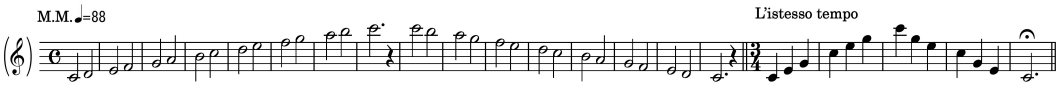
ｃ　クラリネット
ア　フルートのアに同じ。
イ　自由曲　１曲

ｄ　ファゴット
ア　フルートのアに同じ。
イ　自由曲　１曲

ｅ　アルト・サクソフォーン
ア　フルートのアに同じ。
イ　自由曲　１曲

（教育協働学科・後期日程　次頁へ続く）

（教育協働学科・後期日程　前頁から続く）

教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【音楽分野】	f　トランペット ア　次の譜例により、長調の音階２オクターブ及び分散和音（調は当日指定）  イ　自由曲　１曲 g　ホルン ア　トランペットのアに同じ。 イ　自由曲　１曲 h　トロンボーン ア　トランペットのアに同じ。 イ　自由曲　１曲 i　バス・トロンボーン ア　トランペットのアに同じ。 イ　自由曲　１曲 j　ユーフォニアム ア　トランペットのアに同じ。 イ　自由曲　１曲 k　テューバ ア　トランペットのアに同じ。 イ　自由曲　１曲 l　打楽器 ア　小太鼓の基本奏法 １つ打ち、２つ打ち、５つ打ち （緩→急→緩　等、当日指定）、ロール（ ＜、＞、＜　＞等、 当日指定） イ　小太鼓、マリンバのいずれかを用いた自由曲　１曲 （注）マリンバ（５オクターブ半）、小太鼓、スタンド、バチ置きは貸出し可能
教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【美術分野】	**<美術実技選択者>** 次の検査を実施する。 鉛筆による卓上モチーフの描写 （注）１　鉛筆、消しゴム（ねり消しゴムを含む。）、羽根ボウキは使用可（各自持参すること）。それ以外の道具は使用不可とする。 ２　カルトン、カルトン用クリップ、画用紙、鉛筆削り用具は本学で準備する。 ３　鉛筆の硬度は問わない。 ［注］実技検査の種別ごとの合格者数の目安は次のとおり。 音楽実技を選択した者から５人程度、美術実技を選択した者から５人程度

（7）－２　実技検査の採点・評価基準

教員養成課程

課程・専攻等		実施内容	採点・評価基準
前期日程	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	Ⅰ．専門実技検査 種目別運動技能に関するテスト Ⅱ．選択実技検査 種目別運動技能に関するテスト	体力・技術・戦術等を総合的に捉え、種目特有の運動技能の習熟度についても採点･評価の対象とする。 教員養成（体育・保健体育）に必要な基礎的技術・戦術等や、種目特有の運動技能の習熟度についても採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 音楽教育コース	Ⅰ．歌曲 Ⅱ．ピアノ Ⅲ．楽典	教員養成（音楽）に必要な基礎的技術、表現力等について検査する。 併せて､実技に必要な基礎的知識についても審査し、総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	鉛筆による静物デッサン	図工･美術教育に必要とされる基礎的な造形能力（構成・対象把握）や表現能力を総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【書道分野】	１）臨書 ２）筆記テスト	書写･書道の教員を養成するにあたって必要な基礎的技術、表現力などについて検査する。 併せて、書写・書道について必要な基礎的知識についても審査し、総合的に評価する。
後期日程	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース	専門実技検査 種目別運動技能に関するテスト	教員養成（体育・保健体育）としての体力・技術・戦術等を総合的に捉え、種目特有の運動技能の習熟度についても採点・評価の対象とする。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【美術分野】	鑑賞問題	図工･美術教育に必要とされる基礎的な鑑賞能力（観察・分析・解釈）や言語的表現能力を総合的に評価する。
	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 美術・書道教育コース 【書道分野】	１）臨書 ２）筆記テスト	書写･書道の教員を養成するにあたって必要な基礎的技術、表現力などについて検査する。 併せて、書写・書道について必要な基礎的知識についても審査し、総合的に評価する。

教育協働学科

専攻・コース		実施内容	採点・評価基準
前期日程	教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	Ⅰ．専門実技検査 種目別運動技能に関するテスト Ⅱ．選択実技検査 種目別運動技能に関するテスト	体力・技術・戦術等を総合的に捉え、種目特有の運動技能の習熟度についても採点･評価の対象とする。 体力・技術・戦術等を総合的に捉え、種目特有の運動技能の習熟度についても採点･評価の対象とする。
	教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【音楽分野】	【専　門】 A　声楽 B　ピアノ C　管・打楽器 【音楽に関する基礎能力の検査】 D　聴音 E　ピアノ F　楽典	志望専門毎に設定された検査項目により、音楽性・演奏技術等を審査するが、併せて、音楽を志す者にとって必要な、音楽的基礎能力及び知識についても審査し、総合的に評価する。
	教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【美術分野】	鉛筆による卓上モチーフの描写	課題に基づいてモチーフを構成し、観察し、描写する力を評価する。
後期日程	教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コース	専門実技検査 種目別運動技能に関するテスト	体力・技術・戦術等を総合的に捉え、種目特有の運動技能の習熟度についても採点･評価の対象とする。
	教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【音楽分野】	【専　門】 A　声楽 B　ピアノ C　管・打楽器	志望専門毎に設定された検査項目により、音楽性・演奏技術等について審査し、評価する。
	教育コミュニティ支援専攻 芸術表現コース 【美術分野】	鉛筆による卓上モチーフの描写	課題に基づいてモチーフを構成し、観察し、描写する力を評価する。

（8）活動報告書の内容及び採点・評価基準

教員養成課程

課程・専攻等		内容	採点・評価基準
前期日程	学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価するために、高等学校の学内外における活動の内容についての報告書の提出を求める。	高等学校における学内外の活動の具体的内容とその活動に関する振り返りによって、大学入学後の学習態度（特に、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）及び教職への適性について総合的に評価する。
後期日程	学校教育教員養成課程 次世代教育専攻 教育探究コース	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度等を評価するために、高等学校の学内外における活動の内容についての報告書の提出を求める。	高等学校における学内外の活動の具体的内容とその活動に関する振り返りによって、大学入学後の学習態度（特に、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）及び教職への適性について総合的に評価する。

（9）志望理由書の内容及び採点・評価基準

教員養成課程

課程・専攻等		内容	採点・評価基準
前期日程	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	小学校、中学校の技術教育に関わる教員への意欲、技術や技術教育に関する関心・意欲・適性をみる。志望理由書は、４００字程度で記載すること。	小学校、中学校の技術教育に関わる教員への意欲、技術や技術教育に関する関心・意欲・適性などを総合的に評価する。
後期日程	学校教育教員養成課程 教科教育専攻 技術教育コース	小学校、中学校の技術教育に関わる教員への意欲、技術や技術教育に関する関心・意欲・適性をみる。志望理由書は、４００字程度で記載すること。	小学校、中学校の技術教育に関わる教員への意欲、技術や技術教育に関する関心・意欲・適性などを総合的に評価する。

※技術教育コース以外の専攻･コースについては、志望理由書の得点化は行わず、総合判定の資料として取り扱います。

（10）検査日程

教員養成課程

【前期日程】

月　日	課程・専攻・コース			教 科 等	時　　間
2月25日（木）	学校教育教員養成課程	幼小教育専攻	幼児教育コース	面　接	10：00 ～
			小学校教育コース	小論文	10：00 ～ 11：30
		次世代教育専攻	教育探究コース	小論文	10：00 ～ 11：30
			ICT 教育コース	小論文 数　学	10：00 ～ 11：30 13：30 ～ 15：30
		教科教育専攻	国語教育コース	国　語 面　接	10：00 ～ 11：30 13：00 ～
			英語教育コース	英文ライティング 面　接	10：00 ～ 11：30 12：30 ～
			社会科教育コース	小論文	10：00 ～ 12：00
			数学教育コース	理　科 数　学	10：00 ～ 11：30 13：30 ～ 15：30
			理科教育コース	理　科	10：00 ～ 11：30
			技術教育コース	小論文 面　接	10：00 ～ 11：30 13：00 ～
			家政教育コース	小論文	10：00 ～ 12：00
			保健体育コース	実　技	10：00 ～
			音楽教育コース	実　技	10：00 ～
			美術・書道教育コース （美術実技の選択者）	実　技 面　接	10：00 ～ 13：00 14：00 ～
			美術・書道教育コース （書道実技の選択者）	実　技 面　接	10：00 ～ 12：00 13：30 ～
		特別支援教育専攻		小論文	10：00 ～ 12：00
		小学校教育（夜間）５年専攻		面　接	10：00 ～
	養護教諭養成課程			小論文	10：00 ～ 12：00
2月26日（金）	学校教育教員養成課程	教科教育専攻	保健体育コース	実　技	10：00 ～

【後期日程】

月　日	課程・専攻・コース			教 科 等	時　　間
3月12日（金）	学校教育教員養成課程	次世代教育専攻	教育探究コース	面　接	10：00 ～
			ICT 教育コース	数　学 面　接	10：00 ～ 12：00 13：30 ～
		教科教育専攻	国語教育コース	小論文 面　接	10：00 ～ 11：30 13：00 ～
			数学教育コース	数　学	10：00 ～ 12：00
			技術教育コース	面　接	10：00 ～
			家政教育コース	面　接	10：00 ～
			保健体育コース	実　技	10：00 ～
			美術・書道教育コース （美術実技の選択者）	実　技	10：00 ～ 13：00
			美術・書道教育コース （書道実技の選択者）	実　技	10：00 ～ 12：00
		特別支援教育専攻		小論文 面　接	10：00 ～ 11：30 13：00 ～
		小学校教育（夜間）５年専攻		面　接	10：00 ～
	養護教諭養成課程			面　接	10：00 ～

（注） 検査時間に変更のある場合や実技検査時間の詳細については、受験票の印刷が可能になったことを本学ウェブページ等でお知らせする際に、併せて印刷が可能となる「受験者注意事項」により通知します。
なお、実技検査の中には、２日間にわたって実施される課程・専攻等があるので注意してください。

教育協働学科

【前期日程】

月　　日	専攻・コース		教 科 等	時　　間
2月25日（木）	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	数　学	13：30 ～ 15：30
		環境安全科学コース	理　科	10：00 ～ 11：30
	教育コミュニティ支援専攻	心理科学コース	小論文	10：00 ～ 12：00
		スポーツ健康コース	実　技	10：00 ～
		芸術表現コース（音楽実技の選択者）	実　技	10：00 ～
		芸術表現コース（美術実技の選択者）	実　技	10：00 ～ 13：00
	グローバル教育専攻	日本語教育コース	小論文	10：00 ～ 12：00
		国際協働英語コース	英　語	10：00 ～ 12：00
2月26日（金）	教育コミュニティ支援専攻	スポーツ健康コース	実　技	10：00 ～
		芸術表現コース（音楽実技の選択者）	実　技	10：00 ～

【後期日程】

月　　日	専攻・コース		教 科 等	時　　間
3月12日（金）	教育イノベーション専攻	数理・知能情報コース	数　学	10：00 ～ 12：00
		環境安全科学コース	小論文	10：00 ～ 11：30
	教育コミュニティ支援専攻	心理科学コース	小論文	10：00 ～ 11：30
		スポーツ健康コース	実　技	10：00 ～
		芸術表現コース（音楽実技の選択者）	実　技	10：00 ～
		芸術表現コース（美術実技の選択者）	実　技	10：00 ～ 13：00

（注）　検査時間に変更のある場合や実技検査時間の詳細については、受験票の印刷が可能になったことを本学ウェブページ等でお知らせする際に、併せて印刷が可能となる「受験者注意事項」により通知します。
なお、実技検査の中には、２日間にわたって実施される専攻・コースがあるので注意してください。

（11）入学試験場

試　　験　　場	所　　在　　地
柏原キャンパス試験場 （次頁参照）	大阪府柏原市旭ヶ丘４－６９８－１ 近鉄大阪線「大阪教育大前駅」下車 南東へ約１ｋｍ ※エスカレーター（上り専用３基乗り継ぎ）、途中階段あり

（注）１　受験者数により、上記以外に試験場を設けることがあります（試験場は受験票に記載します）。
２　インターネット出願登録ページのマイページより**受験票の印刷が可能となる時期は令和９年２月１２日（金）頃を予定しています。**
３　受験者は、**受験票に記載された試験場以外では受験できない**ので、注意してください。

（12）受験票の印刷

インターネット出願登録ページのマイページより受験票の印刷が可能になりましたら（令和９年２月１２日（金）頃を予定）、**受験票を各自で印刷し試験当日必ず持参してください**。※拡大・縮小はせずに、Ａ４サイズの白の用紙に片面印刷（カラー推奨・白黒可）してください（余白や裏面に何らかの記載がある受験票は使用不可）。

また、併せて会場図や集合場所、持ち物等の試験に関わる重要な事項が記載された「受験者注意事項」等のダウンロード方法もお知らせしますので、**事前に内容を確認するとともに、受験票同様に各自で印刷し試験当日に持参してください**。

なお、受験票の印刷が可能になりましたら本学ウェブページでお知らせするとともに、インターネット出願登録ページで登録したメールアドレスにメールを送信します。

【注意】本学から受験票は送付しません。インターネット出願登録ページのマイページより受験票を各自で印刷し試験当日必ず持参してください。

受験票ＰＤＦダウンロード・印刷方法

提出書類を本学で確認後に、受験票ＰＤＦをダウンロードして各自で印刷いただきます。
インターネット出願登録時に登録した「ユーザＩＤ」と「パスワード」が必要です。

1　インターネット出願サイトにアクセスする

https://sak-sak.net/app/oku

本学ウェブページで「受験票の印刷が可能となったこと」のお知らせを確認するか、受験票ＰＤＦダウンロード通知メールを受け取ったら、インターネット出願登録ページのトップ画面右下にある**「ユーザ登録済の受験生用」**欄に、出願登録時に登録した**「ユーザＩＤ」**と**「パスワード」**を入力し、**「出願状況確認」**ボタンをクリックしてログインしてください。



2　出願受付番号を確認する

出願登録した日時を確認し、出願受付番号欄に記載されている、「出願受付番号」をクリックしてください。

※複数回出願してしまっている場合は、実際に出願し、本学が受理したアカウントでのログイン及び「出願受付番号」を選択する必要があります。



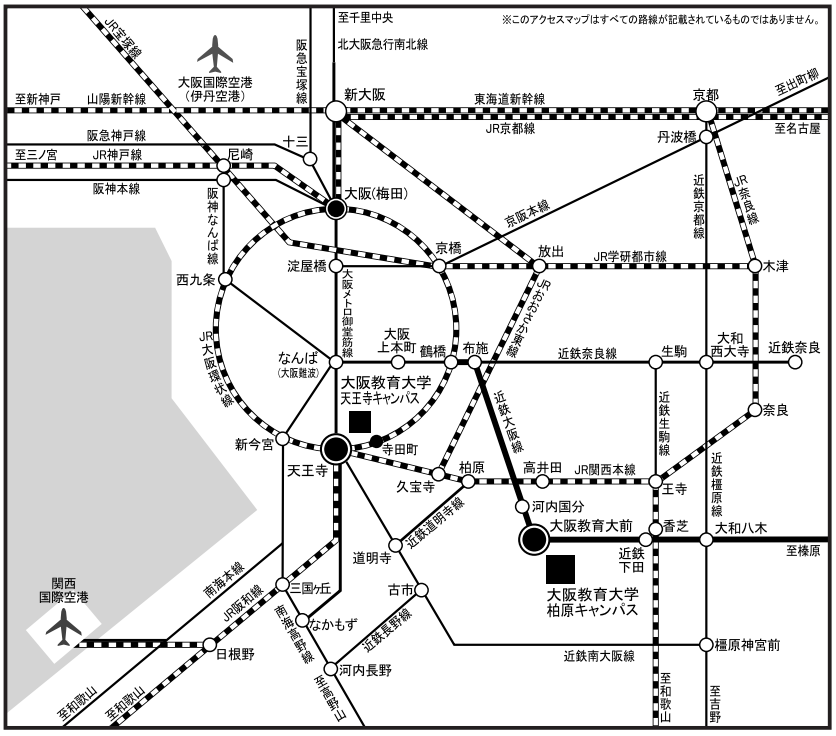
3　受験票を印刷する

出願状況詳細に表示されている受験番号欄の右側にある**「印刷」**ボタンをクリックし、受験票ＰＤＦをダウンロードします。

ダウンロードした受験票ＰＤＦを**各自で印刷し、受験票（紙）は試験当日に必ず持参してください**。

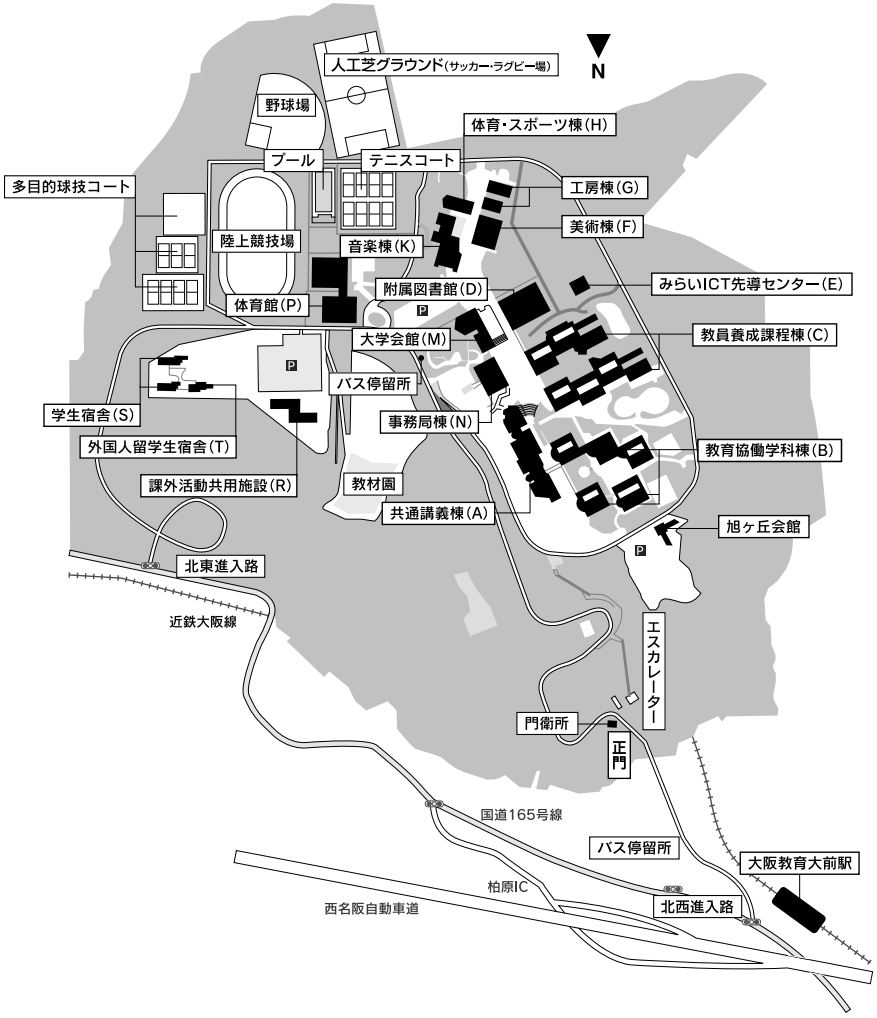


入　学　試　験　場　所　在　地　略　図



交　通
近鉄大阪線「大阪教育大前駅」下車
南東へ約１ｋｍ
※エスカレーター(上り専用３基乗り継ぎ）、途中階段あり

入学試験場：柏原キャンパス



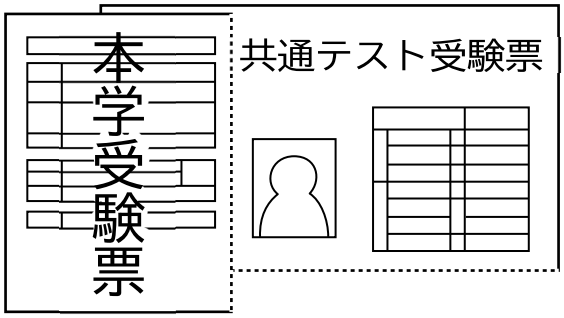
(13) 受験上の注意

1　試験室等は、本学の受験票の印刷が可能になった際に、併せてダウンロードが可能となる「受験者注意事項」等で通知します（令和９年２月１２日（金）頃通知予定）。
　なお、本学の受験票の印刷が可能になった際は、専攻・コース名等記載事項を確認し、**記載されている「受験上の注意事項」及び、併せてダウンロードが可能となる「受験者注意事項」等をよく読んでください。通知後に災害等により不測の事態が発生した場合や連絡事項があれば、本学ウェブページ**（https://osaka-kyoiku.ac.jp/）**に掲載します。**

2　交通手段を確認し、可能であれば事前に試験場の下見をしておいてください。ただし、試験室内の下見はできません。

3　試験当日は、**自動車**（単車等を含む。）**での入構を禁止**します。なお、試験場正門付近は大変混雑するため、大学が特別な事情で入構を許可した付添者以外、**保護者等の付き添いは、近鉄大阪線「大阪教育大前駅」まで**とします。

4　試験当日は、**本学の受験票と大学入学共通テストの受験票の両方を必ず持参**してください。
　万一、受験票を忘失した場合は、試験場入構の際に届け出て、仮受験票の交付を受けてください。
　また、試験時間中は受験票のそれぞれ中央部分を山折りにして、下図のように、大学入学共通テストの受験票の顔写真が見えるように重ねて机上に置いてください。（下図参照）



5　試験当日は試験開始時刻の３０分前までに試験場に到着してください。ただし、開門時間（**8時３０分**の予定）までは試験場に入構できません。万一、試験開始時刻に遅れたときは、**開始時刻後３０分以内の遅刻に限り受験を認めます**ので、監督者の指示に従ってください。
　なお、**試験時間や集合時間（面接及び実技検査のみ）は課程・専攻・コース等によって異なります**ので、５５～５７頁で確認してください。

6　試験室で使用できるものは、原則として筆記用具（黒鉛筆・シャープペンシル（黒い芯に限る。））、鉛筆キャップ、定規（目盛り及びメーカー名以外は記載のないものに限る。）、コンパス、消しゴム、鉛筆削り（電動式は除く。）、時計（計時機能だけのもので、秒針音のしないものに限る。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、目薬のみとします。これら以外のものを特に使用したい者は事前に大学の許可を得てください。ただし、実技試験においては、実技検査の実施内容及び留意事項（３３～５１頁参照）で指定されている場合もあるので注意してください。
　なお、携帯電話等でアラームの設定をしている場合は、試験室に入る前に解除して電源を切り、かばん等に入れておいてください。また、携帯電話等を時計代わりに使用することも認めません。

7　監督者の指示が聞き取れないことがあるので、耳せんの使用は認めません。

8　英文字や地図等がプリントされた上着等は着用しないでください。着用している場合は、脱いでもらうことがあります。

9　受験者控室を大学会館に用意していますので、試験時間以外は試験室付近には立ち寄らないでください。

10　昼食が必要な者は各自で用意してください。特に面接試験を受ける者は、控室に集合してから試験が終わるまでの間、退室ができないので注意してください。

11　学校教育教員養成課程 教科教育専攻 保健体育コース 又は 教育協働学科 教育コミュニティ支援専攻 スポーツ健康コースの実技検査を受験する際は怪我等のないよう、各自十分に注意してください。

12　試験中不正行為等があった者に対しては受験を停止し、かつ、今年度に本学で実施するすべての試験を無効とします。なお、試験中にカンニングをする、あるいは他の受験者に解答を教えたり、カンニングの手助けをすることはもちろん、前頁６のとおり、使用を認めない用具や携帯電話等をしまわず、身に付けていたり手に持つことは、不正行為とみなすことがあります。
　また、悪質な場合は警察に被害届を提出する場合があります。

13　不測の事態が発生した場合は監督者の指示に従って冷静に行動してください。

14　交通機関が何らかの事情で停止した場合でも試験は原則として実施します。

15　柏原キャンパス試験場では、試験当日「大阪教育大前駅」から「柏原キャンパス」への路線バスは運行しません。ただし、エスカレーター（上り専用）は運行します。

(14) 合格者の発表

合格者の発表は、インターネット出願登録ページ(https://sak-sak.net/app/oku)の合否照会機能を用いて行います。（詳しい合否照会方法は８７頁参照）
合格者には、合格通知書及び入学手続関係書類を郵送しますので、必ず合格通知書で確認してください。
合格者の発表について、電話等による照会には、一切応じません。

試験日程	合　格　発　表　日	時　　間
前期日程	令和９年　３月　６日（土）	１６：００
後期日程	令和９年　３月２０日（土）	１６：００

7　入学手続等

合格者は、次により入学手続を行ってください。**合格発表から入学手続までの期間が短いので注意してください。**
（合格者には入学手続関係書類を郵送しますので、詳細についてはそちらを参照してください。）
なお、**本学に入学手続を行った者は、これを取り消して他の国公立大学・学部**（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。）**に入学手続を行うことはできません。**
※公立大学協会ウェブサイト（https://www.kodaikyo.org/）参照

（1）入学手続期限及び方法

期日までにインターネットによる入学手続登録をした後、入学手続書類を本学の指示のもと手続者本人が準備した封筒に入れ、郵便事情を考慮のうえ、期日に間に合うよう**「速達・簡易書留郵便」**により郵送してください。やむを得ない事情があって、郵送で入学手続ができない場合には、事前相談のうえ、所定の日時に持参(来学)による入学手続を認めます。なお、入学手続期限までに入学手続を完了しない者は、入学辞退者として取り扱います。詳細は入学手続関係書類を参照してください。

試験日程	手　続　期　限		
	インターネットによる 入学手続登録	郵送手続期限（必着）	やむを得ない事情による 持参での手続期日
前期日程	令和９年３月１１日（木）	令和９年３月１２日（金）必着	令和９年３月１５日（月） １３：００～１５：００
後期日程	令和９年３月２５日（木）	令和９年３月２６日（金）必着	令和９年３月２７日（土） １３：００～１５：００

（2）入学手続書類送付先

大阪教育大学（柏原キャンパス）学生支援課
※やむを得ない事情による持参手続場所は、大阪教育大学柏原キャンパスとします。